

第 6 号様式

随意契約について

公表年月日	令和 8 年 7 月 1 日
担 当 課	まつどの魅力発信課

契約業者名・住所	株式会社フューチャーリンクネットワーク・千葉県船橋市西船四丁目 1 9 番 3 号
工事等の名称	松戸市ふるさと納税一括代行事業
工事等の場所	松戸市が指定する場所
種 別	委託契約
工事等期間	令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
契約金額	業務委託料：寄附額の 6% 返礼品代：実費
工事等の概要	① 記念品の開拓・提供調整に関する業務 ② 本市が指定する寄附受付サイトの更新及び記念品の紹介記事作成に関する業務 ③ ガバメントクラウドファンディング実施に関すること ④ 本市のシティプロモーションに関する業務 ⑤ 本事業に係る寄附金額及び寄附者のデータ管理に関する業務 ⑥ 寄附者及び記念品提供事業者等からの問合せに関する業務 ⑦ 各種書類の送付に関する業務 ⑧ 記念品提供事業者への記念品の発注、集荷及び配送管理に関する業務

随意契約の理由	ふるさと納税制度は、平成２０年に地方税法の改正により創設されて以降、受入額は大幅に増加しており、平成２０年度の受入額（全国計）約８１億円から、令和６年度では約１兆２，７２８億円に達しています。 本市の寄附に関する基本的な考え方は「市は、善意の寄附に対し、これを有効に活用することで謝意を示す。寄附の市政へ貢献を示すことにより、寄附者の市政運営への参加意識を醸成する」、こうした環境をつくることを前提としています。 その上で、「ふるさと納税」制度の本市税収への影響を鑑み、寄附本来の受動的な考えから踏み出し、本市の魅力を発信し、市内外を問わず、本市を応援したい、寄附したいと思っていただける方を増やすために、積極的な寄附事業を展開していくと位置づけたところです。 具体的には、４つの視点を設け、 ①寄附を通じて市民の行政運営への参画を図ります ②上記寄附者の街づくりに携わっているという意識の醸成を図ります ③歳入の確保を図ります ④本市の魅力を発信するシティプロモーションとして位置づけます ①及び②の寄附本来の考え方を広めていくための方策と、③及び④の市外の寄附者を獲得する方策の２つの方面から寄附事業を展開することとしました。 また、本市の寄附は、 ①リピーターの寄附者が多い ②高額寄附額が多い ③市外の個人の寄附者が少ない という特徴があります。 このような状況を踏まえ、まずは市外の方に本市を知る機会を増やすことが必要であると考え、平成２８年度より、新聞、雑誌等のメディアへの露出度が高く、多くの自治体に参加しているプラットフォーム「ふるさとチョイス」を活用してまいりました。 松戸市ふるさと納税一括代行事業の委託事業者の決定にあたっては、寄附の受付、寄附者情報の管理、お礼の品発送等を民間事業者に委託することにより、事務の効率化を図るとともに、寄附金の増加並びに本市の魅力発信を図ることが目的であり、単なる価格競争ではなく、以下の業務内容をより確実に遂行できる業者
----------------	--

を選定するために令和２年度にプロポーザル方式を採用しました。

【業務の内容】

- (１) 本市ふるさと納税返礼品（以下「記念品」という。）提供事業者及び新規記念品の発掘に関する業務。
- (２) 新規記念品情報の登録、既存記念品情報の更新に関する業務
- (３) ポータルサイトのシステム管理等に関する業務。
- (４) 寄附者へのお礼状及び寄附受領証明書（以下「受領証明書」という。）並びに寄附金控除に係る申告特例申請書（以下「ワンストップ特例申請書」という。）等の送付に関する業務。
- (５) 寄附者からのふるさと納税に関する問い合わせ等の対応に関する業務
- (６) 記念品情報のカタログギフト作成に関する業務。
- (７) その他記念品のＰＲに関する業務

プロポーザルの審査は、総務課長を委員長とし、行政経営課長、人事課長、情報政策課長、男女共同参画課長の５人の委員によって慎重かつ公平公正に行いました。

応募は、株式会社フューチャーリンクネットワークと株式会社ＪＴＢ西日本の２者で、審査の結果、本事業の特性・業務内容を十分理解した取組方針など、充実した提案を行った株式会社フューチャーリンクネットワークが優先交渉権者となり、令和２年度の受託者となりました。

株式会社フューチャーリンクネットワークは、本市が採用するポータルサイト「ふるさとチョイス」の連携事業者であり、同サイトを通じた寄附情報を管理できるシステムを有しており、事務の効率化が図られています。

また同社が本市の一括代行事業を受託した令和３年度の「ふるさとチョイス」を通じた寄附受入額は１２７，１７３千円であり、令和２年度実績１０４，０６２千円に対して増加しました。受入額増について、同社が新たに開拓した記念品が大きく寄与しており、実績を有しています。また、令和３年度から導入した「楽天ふるさと納税」についても同様に管理システムを通じた事務を担うことができ、「ふるさとチョイス」と併せ、今後のさらなる寄附受入額増を図っていく上で必要な体制が構築されています。

まだ同社は、全国展開する地域情報サイト「まいぷれ」を運用しています。その取材・記事作成は、松戸市内に立地する事業者が連携して行っており、このノウハウは、ふるさと納税の記念品紹介ページの作成に活

	かされています。 以上のことから、本市の「ふるさと納税制度」における目指す方向性であります市外の寄附者の獲得、本市の魅力発信について、株式会社フューチャーリンクネットワークが最も相応しいと思料します。よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号並びに松戸市財務規則第138条第1項第1号の規定を適用し随意契約とします。
--	--